

M13b            **サイクル24における地磁気擾乱の原因となった太陽活動について**

亘 慎一, 田 光江, 久保勇樹 (情報通信研究機構)

黒点数やフレアの発生数などサイクル24の太陽活動は、最近の数サイクルに比べて低い状態となっている。太陽活動に伴う地磁気擾乱についてもこれまでの数サイクルに比べて低い状態となっている。そこで、地磁気擾乱の原因となった太陽面現象の特徴について調べてみた。サイクル24に発生した地磁気Dst指数が $-100\text{nT}$ 以下になった地磁気擾乱を抽出して、その原因となった太陽面での現象について調べた。抽出された地磁気擾乱の発生数は、サイクル23の同じ時期に比べるとかなり少ない発生数となっている。太陽活動サイクルの立ち上がりから極大にかけての時期ということで、地磁気擾乱の原因としては、コロナ質量放出(CME)によるものがほとんどとなっている。ただし、原因となったCMEについて見てみると速度の遅いCMEによる地磁気嵐が比較的多いことがわかる。速度の遅いCMEの場合、太陽面での関連現象があまりはっきりしないことが多く、宇宙天気での地磁気擾乱の予測にとっては問題となる。発表では、それぞれの現象について詳しく報告する予定である。